

インクル

"Incl." by The Accessible Design Foundation of Japan (The Kyoyo-Hin Foundation)

The Periodical of Accessible Design

特集 片手で使えるモノ

No. 110

2017(平成29)年 9月25日



目次 contents

■ 片手でも使えるモノ	2	■ デフリンピックとは	10
■ 片手で使えるモノ 私を支えてくれる援軍たち	4	■ モンゴル盲人連合訪問 モンゴルにおける不便さ調査を報告	12
■ 片手で使えるモノ 作業療法の現場から	6	■ 熱気あふれる交流 モンゴル盲人連合にて	13
■ 片手で使える自動具	7	■ 2017 夏休みサイエンススクエアに参加!	14
■ 家電メーカーが考える片手で使えるモノ	8	■ 共用品市場規模結果と活用方法	15
■ キーワードで考える共用品講座第100講 「片手で使えるモノとは」	9	■ 事務局長だより	16
		■ 共用品通信	16

片手でも使えるモノ

はじめに

当機構に一般財団法人保健福祉広報協会から、国際福祉機器展の主催者コーナーで「高齢者に優しいモノ展」を行いたいのことで、企画に協力してもらえないかと依頼を受けたのが7年前のことです。

国際福祉機器展は、毎年秋に東京ビッグサイトで行われる日本最大の福祉機器展で、国内外から500社以上が出展し、3日間で約13万人が来場されます。

主催者と検討を重ね、食堂、居間、寝室、風呂、トイレなどシーン別に区切り、その場面ごとに関係する福祉機器、自器具、そして共用品を出展社の製品の中から選び展示を行いました。会期中、時間を決め作業療法士の方に、機器の使い方を紹介してもらう時間を設けたところ、その時間帯には人が立ち寄ってくれたのですが、その他の時間帯は、ほとんど人が立ち寄らない状況でした。

次年度はもう少し手前の場所

を用意してもらいましたが結果は同じく、会場には多くの人が入っているにもかかわらず、閑散としたコーナーでした。

上田研二さんの一言

二度目の展示会を終えた頃、高齢者の人材派遣会社「高齢社」の創設者である上田研二さんとお話しする機会がありました。

パーキンソン病の上田さんは、片手が不自由で、多くのことを片手で行うこと、その中でも「片手で結べるかっこいいネクタイがないんだよ」と言われたことに目からウロコが落ち、3年目の主催者コーナーのタイトルは、上田さんがその時言われた「片手で使えるモノ展」としたのです。

片手で使えるモノ展

「片手で使えるモノ展」では、展示する片手で使える製品の基準を左記のように決めました。

・通常は両手での操作が必要であるのに、片手だけでも操作

できる『モノ』

・片手で使うことを補助する『モノ』

・使用するのに特別な技術がいらない『モノ』

タイトルを「片手で使えるモノ展」としたコーナーは、昨年までの閑散としていたのがまるで嘘のように、始まりから終わりまでの3日間、人が途切れることのない人気コーナーとなったのです。

各シーンの紹介

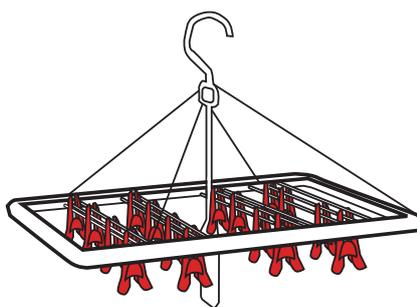
コーナーは①家事、②着衣、③調理、④食事、⑤入浴・トイレ、⑥余暇・文化の6つのシーン別に展示しました。その一部を紹介します。

①家事

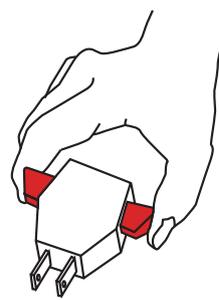
展示した製品は、電源プラグの抜き差しを補助するプラグや物干しハンガー等です。製品の両側にあるレバーを押すと、プラグ内部から突起が出てコンセントが押され、プラグが容易に抜ける仕組みになっています。

②着衣

両手でボタンを留めるという複雑な動作は面ファスナーを使うことで簡単な動作に変えていきます。ボタンを留める自具は、取っ手に先が細くなった縦長の



ピンチが開いたままになる物干しハンガー



突起が出るプラグ

特集：片手で使えるモノ

輪が付いており、ボタンホールに輪を通した後、輪にボタンをかけ、引っ張り込むことで留めることができます。少々コツが必要ですが、片手でボタンのある服を一人で着られます。

靴下は履き口はゴムを使っていない加工になっており、さらに前方と後方に指をかけるフックがついているので、最後のひと上げもしやすくなっています。

③ 調理

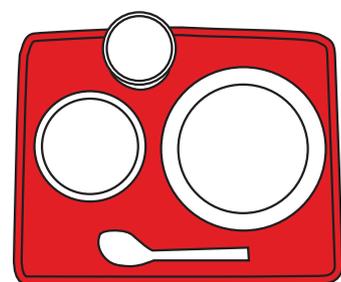
調理の場合、材料を切るものが基本ですが、切る際には材料



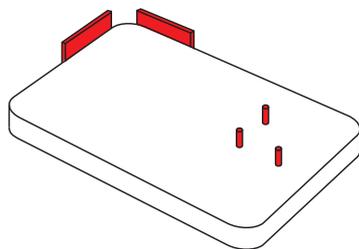
フックのある靴下



面ファスナーの服



シリコンゴムのランチョンマット



突起があるまな板

を固定することが必要になります。展示したまな板は、突起があり、材料を突起に刺して固定することができます。

④ 食事

ピンセットのようになっている箸や、底部にゴムが付いている食器、シリコンゴムのランチョンマット等を展示しました。

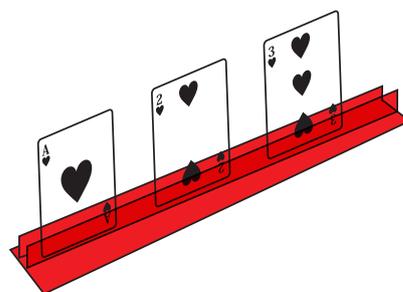
⑤ 入浴・トイレ

トイレットペーパーホルダー

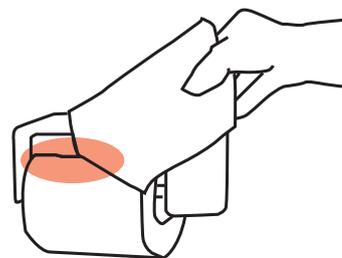
は、紙を切る部分がギザギザになっていたり、他のホルダーよりも強めに紙を抑え、片手で切ることができます。また、複数のメーカーのホルダーを展示したので、来場者はそれぞれの利点を体験できました。

⑥ 余暇・文化

カードホルダーを用いると、



カードホルダー



片手で切れるトイレットペーパーホルダー

手持ちのカードを自分の代わりに保持してくれるため、片手で相手のカードを引いたり、場に出したりすることができます。

まとめ

このコーナーに多くの人が関心を寄せられた要因の一つは、タイトルにあります。「片手で使えるモノ」というタイトルが分かりやすく、しかも年齢や障害の別を超え、より多くの人に何らかの形で関係するテーマであったからと思われます。いくらニーズにあった製品でも、心に届かない言葉で説明していると、必要な人にも情報が届かないということを学びました。

ところで、上田さんが探している「片手で結べるかっこいいネクタイ」ですが、複数の百貨店で確認したところ、既存のネクタイはどれも、2週間ほどで、片手で使える仕様に変えることができるようになったとのことです。

ほしかわやすゆき
星川安之

片手で使えるモノ 「朝の陣」から「夜の陣」まで私を支えてくれる援軍たち

おかだまさとし
岡田正敏

自己紹介

私は十年程前に脳出血で倒れ、半身マヒになり左手足が動かなくなりしました。片手だけの生活もベテランの域ですが、先ずは私がどういふ人間なのかを簡単に紹介したいと思います。

昭和中期生まれ。おもちゃの企画開発や認可保育園等を設立運営する仕事を経て、小学校のスクールソーシャルワーカーとなりました。おもちゃとマンガに囲まれた相談室で、子ども達を支えてあげる仕事に、幸せとやりがいを感じていた絶頂期に、脳出血で倒れてしまったのです。学校もクビになりました。絶望のどん底でしたが、時間を自由に使える状況に、こんな



杖兼用の傘

ラッキーな事はないと気付き、しばらく仕事もせずにのんびりとリハビリ生活を楽しんでいました。しかし、妻が不安そうに財布を見つめる姿に負けてやむなく働く事を決意し、今は、ある特例子会社で、障害を持った優秀な仲間達と毎日楽しく働いています。

片手の戦い

こんな私が毎日どのように片手で生活しているか紹介します。それは正に戦いの連続です。朝起きて最初の戦場は洗面所です。顔は片手で猫のように洗います。その顔をタオルで拭くのは片手でも楽勝なのですが、問題は濡れた手をどうやって拭

くかです。特に指の間の水滴は難敵です。タオルを掛けたままにして、手は押しつけながら、指はタオルを挟んで下に引くように拭いています。完全には拭けません、そのうち乾くので気にしない事になっています。

食卓も戦場です。茶碗等の食器は片手で食べようとすると添え手がない為、倒れたり動いたものになるので、重くてどっしりしいて滑らないようにしています。また、牛乳パック等を片手で開ける事や、ヤクルトやカップ等のフタを剥がす事は、5本の指での戦いになります。

食事の後はトイレです。トイレットペーパーを片手で切る事は難敵で、この戦いに敗れた時は無駄に長く出ってしまった紙で反エゴを詫びながらお尻を拭いています。

そしていよいよ出勤の身支度が始まります。最大の強敵はワイシャツです。小さなボタンを片手で留めるのは厳しい戦いに

なります。特に首回りのボタンにはいつも敗北感を味わいながら断念しています。それを「結び目が既に出来ていて輪を首に通して引つ張るだけのネクタイ」を締める事でごまかします。意外な伏兵は靴下です。先ず手の指にかぶせてから、つま先にもって行き、指を開きながら少しずつ履かせるのですが、開き難い新品の靴下等には大苦戦します。これらの戦いが終わると、ようやく出勤となります。

と、ここまでが片手の戦い「朝の陣」です。このあと「昼の陣」「夜の陣」と続くのですが、片手での戦いの厳しさを少しでも感じていただけたら幸いです。

片手生活の援軍達

次は、この厳しい戦いにおいての、私の援軍達を紹介します。

先ず私が一番感謝しているのは何と言っても、「パソコン」です。操作は片手でも問題なく出来るので、何とか働けているのです。「固定キー」機能

【岡田正敏氏プロフィール】

1958年生。(株)トミー(現:タカラトミー)、(株)サクセスアカデミー(現:ライフアカデミー)を経て、千葉大学附属小学校のスクールソーシャルワーカーとなる。現在は(株)ぐるなびサポートアソシエで働いている。世界平和の〜てんき研究所 (<http://www.nohtenki.com>)の所長(G.G.岡田)でもある。

(Windowsでシフトキーを5回連続で押すと可能になる)を知らなかった時は、シフトキー等を押しながら別のキーを押す事に苦戦していたのですが、今は楽勝です。また、キーを打つ速さも片手ブラインドタッチを過酷な修行でマスターしたのでそれほど遅くはないと思います。

また、「マジックテープの靴」がなければ、一人で靴を履く事が出来ません。ただ、このタイプの靴が少ないので、自分の気に入ったデザインに巡り合える事は稀です。

「杖兼用の傘」にも助けられています。杖を突きながら傘を持つのは大変なので、雨の日や雨の降りそうな時は、この傘を利用してしています。

「カバン」はポケットの多いショルダータイプをお腹側に抱えて使っています。携帯電話や定期、財布、鍵など欲しい物が直ぐに取り出せ、使わない時の杖も引っ掛けておけるので本当に便利です。

「スマホとBluetoothのワイヤレスイヤホンのコンビ」は手放せないアイテムです。通勤時はスマホでラジオを聞いているのですが、ワイヤレスなので片手でも簡単に装着できます。これ最大の機能は、手放して通話ができる事です。普通片手で通話しながらメモを取る事は不可能なのですが、これだと出来るのです。ちなみに私の使っているスマホは、スライド式のテンキーを使えるタイプで、片手で使うには大きさも機能もとても便利なのですが、残念ながら今はもう発売されていません。

「片手で使える物干しハンガー」も、私の強い味方です。とても優しい妻から「洗濯くらい自分でしなさい。あなたの為よ!」ときつく言われているのは、自分で洗濯をしています。洗うのは洗濯機に突っ込んでボタンを押すだけなので楽勝なのですが、問題は洗濯物を干す事です。片手で洗濯バサミを開いて、それに物を挟むのは至難の

技です。それを助けてくれるのがこの洗濯バサミです。これは開いた状態を保持してくれていて、指で閉じると強く留まる構造になっています。私はこの洗濯バサミを単品で複数購入して、通常の物干しハンガーのハサミ部分を全て付け替えて使っています。

「片手で使える爪切り」も私に欠かせない大事な味方です。以前は妻が優しく爪を切ってくれていたのですが、一度、切り方について「下手くそ!」と言ってしまったので、妻から「じゃあ自分でやれば!」と言われてしまい、それからは自分で切っています。この爪切りは床に置いて、足で踏んで切る事が出来るので、自分の右手の爪も切る事が出来ています。

四国旅行の時に土産で買って来た「坂本龍馬の銅像」も私の大事な助っ人です。片手では筆記具と共に紙も動いてしまうので字が思うように書けないのです。そこで私は、これを文鎮

として紙の上に置いて書いています。これなら会社の机に置いていても邪魔にならないし、常に日本の夜明けを考えながら仕事ができます!

終わりに

片手での苦労や便利なグッズについて書いてきましたが、私は利き手の右手が使えているので、利き手がマヒしている人の苦労はこんなものではないと思います。それらの人達にも喜んでもらえるグッズがもっともつと沢山商品化される事を心から祈っています。



坂本龍馬の銅像

片手で使えるモノ 作業療法の現場から

一般社団法人 東京都作業療法士会 会長 たなか ゆうじろう 田中勇次郎



図1 エポキシ系パテで作製したダイヤルボタンガードを取り付けて電話をかける、アテトーゼ型脳性麻痺者

作業療法の現場では様々な機能障害をもつ方々を担当します。機能の回復を図れる方もいれば現状に留まる方や病気の進行に伴い障害が重度化する方もいます。機能の改善が図れない場合は、機能を補うための用具を適合することで能力的なレベルを維持させることができま

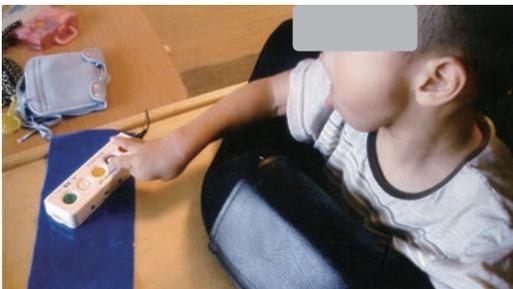


図2 レッツ・リモコンを利用するジストニア型脳性麻痺児

用具についていえば、その方にとって必要なものであれば使いますが、そうでなければ使いません。「片手で使えるもの」も、利用する方の状態が「片手が使えない」だけなのか、「片手しか使えない」状態なのかで異なります。

かなり前の経験ですが、片側上肢切断の方では装飾用義手を必要とされますが、能動（作業用）義手を要望される方はほとんどおられなかったことを記憶しています。脳卒中で右手（利き手）が麻痺した主婦も、左手用の包丁を必ずしも使用しません。今まで利用していた包丁を左手で持ち、刃先の角度を調整して使いこなします。

「片手しか使えない」方にとっては、その方の状態にあった用具があると便利です。ダイヤルボタンガードをエポキシ系パテで作り、コードレスフォンに取り付けたことで、ダイヤルボタン操作が自立し電話をかけることができましたアテトーゼ型脳性麻痺の方がいます（図1）。市販製品では、レッツ・リモコンを利用することでTVの選

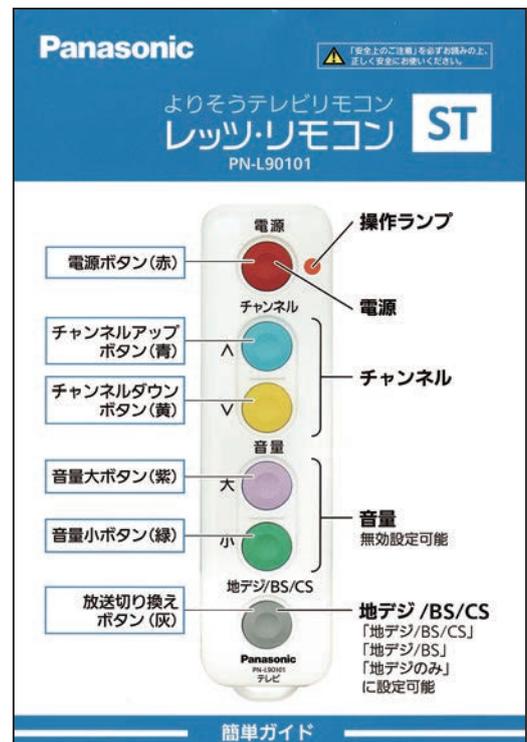


図3 レッツ・リモコン簡単ガイド

片手で使える自助具

大肢協 ボランティアグループ 自助具の部屋 おかだ えいじ 岡田英志



自助具相談コーナー
H.C.R. での展示風景

「自助具の部屋」は1983年の創設以来、市民活動として自助具の製作と普及活動を続けており、毎年100件程度の自助具を製作しています。

自助具は、思わぬ病気や事故あるいは加齢による変化から、生活の中で不便なことやできないこと、人に頼みたいと思うことが出てきた時に、その日常生活動作を少しでも自分でできるように工夫した『自らを助ける道具』のことで、一番身近な福祉用具と言われています。

様々な障害を負った方々から製作依頼が寄せられますが、その中でも比較的多いのが『片手で使える自助具』です。ビンや缶の蓋を開けたり、野菜を切ったり、洗い物やラップを切り取るなど、片手では難しい動作も

自助具を使って今までと同じように、できる限り自分でやりたいという強い思いのこもった依頼です。

『片手で使える自助具』の事例をご紹介します。

1 食器洗い

吸盤付きの台座に複数のスポンジたわしを取り付けたもので、シンクの内側に吸盤を押し付けて固定させて使用します。スポンジに洗剤をつけてコップをかぶせると、片手で回転させながら洗うことができ、皿はスポンジの間に挟み込んで洗います。

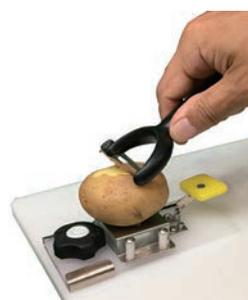


片手用皿・コップ洗い器

2 ケンザン付まな板

まな板に取り付けられたケンザンの針に、ジャガイモのような転がりやすい野菜を刺して固定し、ピーラーなどで皮を剥くことができます。剥き終わった野菜は、針の根元に取り付けた

板をレバーハンドルで押し上げることによって、安全に取り外すことができます。



ケンザン付まな板

3 食事台

食器をセットするための3つの枠部を設けた回転板を、台座付支柱に取り付けた食事台です。回転板の枠に茶碗や皿をセットして、食べやすい高さになるように調節すると、ストッパー機能を使って、食べたいものを正面側に回転させながら、楽な姿勢で食事することができます。



回転板を取り付けた食事台

4 爪切り

片手使いの人が一番困るのは、

健側の手の爪を切ることです。板に取り付けた爪切りの刃に爪を当て、そのまま下へ押し込むと、シーソーの動きで爪切りのレバーハンドルが外枠のバーに当たって下がり、爪が切れます。



板に取り付けた爪切り

自助具は、一人ひとりに合わせた物作りを基本とするものですが、その中でも『片手で使える自助具』は、片手を欠損した人や片手が不自由な人、あるいはケガなどで一時的に片手しか使えない人など、様々な人に対応できる汎用性の高い福祉用具です。そうした意味では、より多くの人たちが利用できる『共用品』の一つでもあると言えるのではないのでしょうか。

家電メーカーが考える片手で使えるモノ

パナソニック株式会社 くわのひろやす 桑野裕康

今回、「片手で使えるモノ」

という特集で依頼をいただき、改めて家電製品について対応できているのか考えてみました。

家電の操作部分はそれほど大きくないため、操作自体は片手で操作できるモノが多いように思います。ただ、大きめの製品を移動させるために持ち上げる場合や家事で製品を使う時などに、作業全体としては、両手を使う必要がある製品もあることに気づかされました。

ポイントの整理

両手を使うことが必要な作業において、少し配慮した製品や、使い方を工夫いただければ使用できるのではないかとこの製品を紹介しました。配慮ポイントが分かりやすいように、3種類に整理してみました。

◇配慮A…本来は両手での操作や作業が必要だが、片手でもできるようにしたもの。

◇配慮B…本来片手でも使えるが、使い勝手や使い方を工夫

したモノ。

◇配慮C…本来片手で使うが、左右どちらでも使えるもの。今回は、配慮AとBの当社製品をいくつか紹介します。

配慮Aの製品や機能

まずは衣類スチーマーで、ハンディアイロンとも呼ばれています。アイロンがけの作業は、アイロン台にシワにならないように衣類を広げたりずらしたり裏返したり、両手でも面倒な作業です。衣類スチーマーは衣類をハンガーに掛けたまま、本体をゆっくりと滑らせるようにスチームをあてて、シワやニオイをとることができま。薄手の衣類の場合は手で引っ張ると良いのですが、大きめの洗濯



衣類スチーマー NI-FS530

ばさみでおもりをぶら下げるような工夫もできるでしょうか。

次に家電ではありませんが、当社ノートパソコン『レッツノート』のキーボードにはファンクションキーが左右に2つ配置されています。ノートパソコンは配置できるキーの数に限りがあるため、ファンクションキーと同時押しでのキー割り当てが多く設定されています。ファンクションキーと同時押しのキーとが左右で離れていると両手を使わずに済む場合がありますが、ファンクションキーが左右にあれば片手で操作できます。他に、食卓用として、ボタン



「レッツノート」シリーズのキーボード

を押すだけの乾電池式ごますり器 (BH-925P) もあります。

配慮Bの製品や機能

固定されていないテーブルタップから電源プラグを抜く場合に他方の手でテーブルタップを持つ必要があります。片手でもできますが、隣の差込口も使っていると大変です。

当社マグネットタップセットを使うと、マグネット式で傾けると約1/8の力で抜き差しできるので、片手でプラグを抜くことができます。

概略の説明でしたが、参考にさせていただけると嬉しいです。



マグネットタップセット WH6601WP

「片手で使えるモノとは」

日本福祉大学客員教授（東京大学大学院教授）

ことよしかず
後藤芳一

片手で使えるモノには、片手が使えない不便さを補うことや、片手を空けることでプラスの利便性を生むものがある。対応策には、①身体に器具をつけて用いる、②専用の機器・用具を用いる、③扱われる側（モノ）の仕様を使いやすくする、④一般の用具を追加的に用いる、などがある。「片手で使えるモノ」は狭い意味では③である。①、②、④を合わせて見ると、共用品は③の周辺にも広がっていることが分かる。

1. 「片手」の不便さと補い方

片手が使えないことの不便さを重い順に3つに分ける。Ⅰ…身体機能が常に不足する利用者であり、切断や疾病で生じる。Ⅱ…機能が一時的に不足する利用者であり、病気の治療の過程、片手を使えない作業、荷物を持っているなど。Ⅲ…不便さはなく、片手が空くとプラスの利便性が生まれる。

対策は重い順に4つ。W…器具をつけて身体の一部として手の機能を補う、X…専用仕様で創られた用具を用いる、Y…（利用される側の）モノの仕様を変えて片手で扱えるようにする、Z…汎用仕様のモノを必要とときだけ合わせる用いる。

脳卒中で片マヒがあつて自助具を用いる（Ⅰ・X）、乳児を抱いているので片手で開けられるポーチ型財布を用いる（Ⅱ・Z）などである。利用者（Ⅰ・Ⅲ）と対応策（W・Z）の組合せを見ていこう。

2. 常に不便さのある利用者（Ⅰ）

重い不便さがあつて、W…暮らしや就学・就労を常に補う必要があるときは身体に装着して機能を補う補装具（例…義肢、装具）、X…専用のモノとして家具・建具（例…立上り補助手すり）、衣類・装具（例…ボタンエイド、ソックスエイド、あゆみシューズ）、自具（例…箸）、片手用調理機器（例…まな板、皮むき器）、日用品（例…爪切り、押すだけのハサミ）、Y…不便さ対応のモノの活用（リーチャー、パソコン周辺機器）（例…リーチャー、パソコン周辺機器）。これらのうち、補装具と日用品（例…パソコン周辺機器）は公的制度で給付される。常に不便さのある利用者にはWとXという

3. 一時的な不便さのある利用者（Ⅱ）

一時的な不便さは、原因が明確なため、それに合わせたモノを必要な期間だけ利用することになる。W…治療の過程で病状が固定する前には一時的に治療用装具（例…訓練用仮義肢、矯正用装具）を用いる。X…リハビリテーション（片マヒ）用歩行器、Y…不便さを補う衣類（例…マジックテープ）、食器（例…返しがついた皿）、容器（例…ソープディスプレイ）、Z…装身具（例…ポーチ式財布）などが用いられる。ただ、一時の利用に限られるので情報が蓄積・共有されず、専門家（例…Ⅰの場合の医師）も少ない。よつてモノや活用に関する情報を集めて提供する価値は大きい。利用者Ⅱでは、XとYの活用が中心になる。

4. プラスアルファの利便性を実現（Ⅲ）

一般の利用者には、不便はなくとも、あればさらに便利な（例…空いた片手を別に使える、作業が速くできる）ことがある。X…片手で用いることを目的に創られた文具（例…ふせんホルダー、軽く打てるホチキス）、Y…片手に対応させた家具・建具（例…トイレットペーパーホルダー）、事務機器（例…電卓片手入力アプリ）、情報機器（例…スマホアプリ）、文具（例…ノック式マーカー）、Z…家具・建具（例…軽量で片手可搬の組立ベッド・椅子）、電機製品（例…ミニキャスター付電動芝刈機）がある。ここではZが中心になるが、Yを活用すると一層便利になる。

5. 共用品との関係

仕様を工夫することで不便さに対応する、という共用品の定義に直接に合うのはYである。その他、「不便さのある人に便利なモノは一般の人にも便利」といわれてきたこと（例…片手で使いやすい文具（Ⅲ・X））や、一般の用品を必要性に合わせて利用することで不便さの解消につなげている（例…ポーチ式財布（Ⅱ・Z））例がある。前者は、モノの仕様自身が共用品であり、後者は使い方のソフトによつて共用品を生みだしている。

デフリンピックとは

(一財)全日本ろうあ連盟スポーツ委員会 栗野達人 あわのたろひと

はじめに

世界最大の総合スポーツ大会とは？と聞けば、誰もが、まず「オリンピック」と答える。次に「パラリンピック」と答えるのが多い。

「デフリンピック」は？と聞いても、残念ながら日本では知名度が低い状態である。

では、「デフリンピック」とは？実は「パラリンピック」より古い歴史を持っている、世界総合スポーツ大会である。

デフリンピックとは

デフリンピック (Deaflympics) は、身体障害者のオリンピックである「パラリンピック」に対して、ろう者のオリンピックのこと。夏季大会は、1924年にフランスで、冬季大会は1949年にオーストリアでそれぞれ第1回が行われている。運営は、1924年に設立された国際ろう者スポーツ委

員会 (ICSD) が行っている。

1989年国際パラリンピックが発足した当時は、国際ろう者スポーツ委員会も加盟したが、デフリンピックの獨創性を追求するために、1995年パラリンピックの組織から離れている。現在94カ国が参加するデフリンピックの特徴は、運営を障害当事者であるろう者自身が行うことと、参加者はコミュニケーションを、国際手話で行うことである。運営の詳細は、31条からなる「デフリンピックの規則」をもとに行われている。規則の第2条の8項に、参加資格が以下のように記載されている。

(1) 良耳の聴力が、少なくとも55dB(500、1000、2000各ヘルツの3周波の平均、1969年アメリカ国家規格へANSI基準による)の聴力損失と判定されたる者。

(2) ICSD加盟国の国籍を有

する者。

(3) 大会競技中、補聴器・人工内耳を使用しないこと。

競技中、補聴器や人工内耳を使用しない理由は、選手同士が耳の聞こえない立場でプレーするとう公平性を保つため、競技中だけでなく、会場に入ったら練習時間でも同様のルールになっている。

デフリンピックで工夫されている各種合図とコミュニケーション

デフリンピックではオリンピックと同じ競技ルールを採用して開催されている。いわばオリンピック同様、ハイレベル競技ルールで行われているのである。それだけでも凄いのと思われるが、耳が聞こえないのに、どうやって競技スタート音を聞き取ってスタートしていたか？と疑問を持つ方も多いであろう。

実に色々な工夫がされた各種合

図がある。それを紹介したい。

規則の第23条全競技審判員の第2項では、「各スポーツの競技規則は国際連盟規則とし、規約の聴覚的な合図を視覚的なものに部分修正をする。」とあり、実際にさまざまな競技で、音や音声の合図が、フラッシュやフラッグ(旗)の合図でも表示されている。

サッカーでは、通常副審判が持つフラッグを主審も持ち、点が



工夫がされた各種合図



入った事、反則があったことなどを、選手や観客が見て分かるようになってきている。水泳は選手が最後のターンをする際、審判が水を掻き回して知らせる。陸上のスタート時の合図は、ピストルの代わりに地面に埋め込まれた赤、黄、青のランプが青になった時スタートするなどの工夫がなされている。これらの工夫は日常の生活場面においても活用できるものであり、障害者差別解消法で謳われる合理的配慮にもつながる。多くの場所で応用されることを期待したい。

サムスンデフリンピック

2017年7月18日～30日までの13日間、トルコのサムスンで、「サムスンデフリンピック2017」が開催され、21競技のうち、日本は陸上、バドミントン、テニス、卓球、水泳、自転車、空手、ビー

チバレー、サッカー（男子）、バレー（男子）、バレー（女子）の11競技に参加した。出発前に「世界一の高みを目指して、夢咲かせよう」のスローガンのもとに、メダル目標を「金メダル5個、銀メダル10個、銅メダル10個、合計25個とする」と発表。史上最多97カ国3地域、3148人の選手が集う中、わが日本選手団は金メダル6個、銀メダル9個、銅メダル12個併せて27個を獲得した。過去最高のメダル数を獲得したのは、テレビや新聞等のマスコミ、地域行政、文部科学省、スポーツ庁、外務省、厚生労働省の協力、また日本障がい者スポーツ協会、聾学校教育関係者、企業、デフリンピック支援ワーキングチーム等の皆様から熱いご声援をいただいたおかげである。この場をお借りして日本選手団から皆さんに対して心よりお礼を申し上げる。

国別のメダル獲得数をみると、前回の16位より順位を上げて6位に躍進した。惜しくもメダルを取れなかった選手たちも最後まで諦

めずに挑み、多くの方々に勇気と感動を与えた。団体競技ではバレーボール女子は16年ぶりの金メダルとなり、表彰台で選手達は、手話で国歌斉唱を行った。

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会について

昭和38（1963）年3月17日に創立、全国ろうあ者体育大会（夏季・冬季）の開催や、デフリンピック（夏季・冬季）、アジア太平洋ろう者スポーツ大会への日本代表団派遣及びその準備、そしてスポーツリーダー養成などの事業を行い、聴覚障害者スポーツの発



手話で国歌斉唱

展に尽力しているのが、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会である。

日本の聴覚障害者スポーツの歴史は古く、戦前から活発に取り組まれており、戦後は財団法人全日本ろうあ連盟体育部によって、聴覚障害者スポーツの振興が図られてきた。連盟は昭和30（1955）年9月、第1回全国ろうあ者野球大会が京都で開催され、野球を中心に各地域で聴覚障害者スポーツが活発に行われ、スポーツへの関心が深まった。そして世界ろう者競技大会（現デフリンピック）参加への希求が高まり、独立した聴覚障害者スポーツ組織の設立が求められるようになった。創立されてから54年たった一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会として、今後も頑張っていくつもりだ。

大会公式ウェブサイト

<http://www.deaflympics2017.org/en>

日本選手団ウェブサイト

<http://www.jfd.or.jp/sc/>

[samsun2017/](http://www.samsun2017/)

モンゴル盲人連合訪問

モンゴルにおける不便さ調査を報告



モンゴル人通訳バトフー氏とともに

共用品推進機構では、2014年から東南アジアのベトナム、インドネシア、ミャンマーで視覚障害者の不便さ調査を実施してきました。ベトナムでは自分たちが回答した調査結果を見てもらうため、共用品、盲人用具の展示会で、調査結果をパネル展示しました。このアジアでの事業の一環として、モンゴルでも同様の調査を行いました。

モンゴル不便さ調査結果

今回の調査実施に当たっては、モンゴル盲人連合（以下、連合という）会長のゲレル氏にアンケート調査の回答に協力を

いただきました。会員の方へアンケート調査票を配布し回収していただいたところ、100名の視覚障害の方から回答を得ることができました。その調査結果を共用品推進機構で集計し、分析を行いました。

アンケートでは、最初に回答者自身について質問しました。回答者の男女比は57対43、年齢層は20～40歳代が81名で、日本より若い年齢層の人たちが回答していました。全盲と弱視の人の割合はほぼ同数で、回答者の過半数が生まれつき全盲、弱視だとわかりました。

次に、具体的な不便さについて、交通機関、公共施設、日常生活で使用する製品等に分けて質問しました。

交通機関では、主にバスの利用について不便だと回答していました。電車に乗る機会がありません。そのため、鉄道関連の不便さは回答にはありませんでした。

公共施設では、銀行での書類記入が難しいと答えた弱視の方



会場の様子

が15名いました。このことは日本でも数年前まで大きな問題でしたが、日本では現在、金融機関で代筆のルールを作成するよう指導が行われており、不便さが改善されているようです。また、一列に並ぶことが難しいことも、不便さの一因になっていました。

この他に、モンゴル特有の傾向に気づきました。他の国ではお店や公共施設で、スタッフが障害のある人に応対することを嫌がるという回答が散見されましたが、モンゴルではそのような回答はありませんでした。あとで伺った話によると、モンゴ

ル人は、困っている人がいたら助けようとするのが一般的だそうです。

88名の方々に調査結果報告

連合が運営する職業訓練専門学校のパトワヤル・ガンゾリダ校長がたくさんの人たちに聞いてもらった方がよいとおっしゃって、会議室から隣にある職業訓練専門学校（以下、センターという）の教室に場所を移し、88名の専門学校生や先生に結果を紹介しました。

結果を報告しながら、バスの利用が難しいか、また、ストロブが不便かどうか、など、アンケートで回答者数が多かった質問を参加者にしたところ、同様に不便、危険という人が多くいました。

モンゴルの人たちは、感情表現がはっきりしています。

よく笑い、「そうそう！」と大きな声で説明に反応してくれました。このあと、同じ教室で共用品の紹介をしました。

かなまるるじゆんこ
金丸淳子

熱気あふれる交流

モンゴル盲人連合にて

共用品推進機構によるモンゴル不向き調査結果報告後に、モンゴル盲人連合で、日本から持参した共用品や視覚障害のある人達が使って便利な製品を紹介しました。

遠いところから、

私たちのために、ありがとうございます

「モンゴルの調査をしてくれてありがとう、日本の商品を紹介してくれてありがとう。」

調査報告と共用品の紹介を終えた後、職業訓練センターの学生からこんな挨拶をいただきました。

金丸淳子調査研究課課長が不向き調査結果を伝えると、あちらこちらで納得するようにうなずいたり、「自分も同じ」と手を挙げたり、近くの仲間に話しかけ共感したりしていました。

また、日本のモノづくりや製品が生まれる背景、標準化の考え方を丁寧に分かりやすく伝えるとき、あちらこちらで拍手が起こり、わーっと声を上げて賞賛

する姿が見られました。

自分達ができることから

日本の取り組みを知ったり、共用品に触れたりした学生は、とても便利で楽しい製品を購入したいと話し、何とかモンゴルでも買えるようにならないか、モンゴルでもこのようなモノを作ってくれる企業はないか等の意見が飛び交いました。



話を聞く学生達



手を挙げる人達

その時、校長先生がおもむろに立ち上がり、学生達に向けてこのようなことを話しました。

「今のモンゴルで自分達ができることは何かを考えましょう。」
「先程、金丸さんが話してくださいましたことを覚えていますか。日本はきちんと調査をして、何が必要かを考えて取り組んでいます。皆さんもそこから始めなければなりません。」
とても迫力ある言葉でした。

誠意あるコミュニケーション

グローバル化が進む中、近隣諸国との連携は必須でありながら、言葉の問題やそれぞれの国の事情で進まないことがあります。しかし今回、調査結果をモ

ンゴルの人達に直接報告し、コミュニケーションが図られ、今後も連携していくことを約束できたことは、大きな成果であったと思います。

当機構の取り組みは、共用品のブロックでもご覧いただけます。

森川美和
もりかわみわ



共用品ニュース <http://www.kyoyohin-news.org/>

国立科学博物館 2017 夏休みサイエンススクエアに参加！

共用品推進機構は毎年、国立科学博物館が夏休みに開催している子ども向けのイベント「夏休みサイエンススクエア」に参加しています。参加は今年で9回目になりました。昨年に引き続き、楽しいと好評だった箱の中に入っているものを手探りで当てるクイズゲームを行いました。

今年は、会場レイアウトが変更されたため、共用品推進機構の参加は2日間と例年より1日短くなりました。それでも、およそ370名もの子どもたちが共用品推進機構のブースに来てくれました。参加した子どもの中には外国から来た子どももいて、説明員の学生さんが一生懸命英語で対応しました。

箱の中身はなんだろう？

開始の10時、受付で待ち構えていた子どもたちが、3箇所のコーナーめぐって駆け込んできました。各コーナーには2つずつ箱が置いてあります。小さい箱には動物のおもちゃ、大きい

箱には代表的な共用品であるシャンプー、リンス、ボディソープの透明な容器が入っています。子どもたちにはそれぞれの箱に入っているものを触って当ててもらいました。

「これ、ワニだ」「どうしてわかったの？」「背中がざらざらしている。でも、背中だけじゃないよ。ワニは口がこうなっているから」。馴染みのある動物の箱では、正解続出です。簡単にわかってても、触っただけで当てるのが新鮮だったのでしよう。子どもたちの口からは動物の特徴が次々に飛び出します。



動物当てゲームの様子



容器の違いを触って確認する様子

透明な容器を入れた箱では、3つの容器の違いを初めに説明してから、箱の中に手を入れて触り始めてもらいました。すでに違いを知っていた子どもは、一緒に参加した友だちに誇らしげに解説していました。付添いのご家族も「へえ、そういう工夫があるんだ。きょうお風呂で触ってみようね」「シャワーで目が開けられなくてもわかるね」と興味津々で覗き込み、親子で話が弾む姿もみられました。目の見えない方への工夫は、自分たちへの工夫でもあることを実感したようです。

体験から次のステップへ触ってわかる工夫を見つけよう！ゲームが終わった子どもたちには、書き込みのできる冊子を持ち帰ってもらいました。ゲームで触ったシャンプー、リンス、ボディソープの他に、牛乳パックや調味料などで共用品の工夫についても説明した冊子です。自分で調べて記入するページもたくさんあり、夏休みの自由研究にも使えるものです。

サイエンススクエアで知った共用品のこと、触ってわかることの便利さと楽しさ、この日の体験が子どもたちの中で大きく育ってほしいと願っています。会場の様子は当機構のブログでも紹介しています。どうぞご覧ください。

まつもり
松森ハルミ

2017夏休みサイエンススクエア——共用品ニュース
<http://www.kyoyohin-news.org/archives/52060268.html>

共用品市場規模結果と活用方法

日本能率協会総合研究所 しのぎたつや 凌竜也

本調査は、共用品の市場動向（出荷額ベース）を把握する国内唯一の定点調査として当機構が実施してきている。今回調査は2016年12月から2017年3月にかけて実施され、調査対象は例年同様、一般機械器具から生活用品に至る幅広い分野の28品目とし、調査方法は、共用品製造企業へのアンケート調査を中心に、公的統計等も交えて、とりまとめられた。

2015年度調査結果

調査対象各品目の合計値にみる2015年度の共用品市場規模金額は、2兆8460億円と推計され、前年比で1.4%（397億円）増と2年ぶりに増加に転じた。全体金額の増加に貢献した要因としては、省エネ機能を充実させた製品の需要が好調に推移した「家庭電化機器（9699億円・+5.8%、536億円増）」の貢献が大きかった。

市場規模調査結果の活用方法

市場規模調査結果の活用方法について改めて考えてみたい。同調査による品目全体の出荷額合計や品目別の出荷額の動向は、事業者、行政組織の双方から、事業やサービス展開上の基礎情報として、これまでも幅広く活用されているが、この他にもそれぞれ異なる活用余地がある。

①【事業者の視点】

まず個別品目の配慮点や配慮対象者は、当該品目に参入している（または参入予定の）事業者にとつて、越えるべきハードルまたはベンチマークという読み方が可能である。

また配慮点の背景には必ず配慮対象者が存在するので、これまで配慮がなされていない利用者に着目することで新たな配慮点を見つけるヒントになりえる。

たとえばバス車両の調査対象は「低床バス」だが、その配慮の中心と考えられる肢体不自由者以外の立場に着目する（たとえば「視覚障害者にとつて既存のアナウンス等で十分か」「聴覚障害者にとつて前方の表示は見やすいか」等）ことで、新たな配慮点や製品の開発余地が見つかるとは考えられない。

さらには配慮のパターンにも「包装・容器に共用化配慮」「本体機能の一部に配慮」「製品自体が共用品に位置づけられているもの」等の3種類が存在しており、その分類に着目することで他業界からヒントが見つかる可能性もある（たとえば加工食品等の分野で、シャンプー容器のキザミの工夫が参考になるかもしれない）。

このように配慮点や配慮対象者の現状に着目することは、製造業にとつては開発、流通業にとつては商品構成のヒントとなる可能性を秘めている。

②【行政組織の視点】

共用品や共用配慮の普及に関心があるはずの行政の立場から

も、いくつかの活用視点がある。まずは全体出荷額で表現される市場規模数値自体が、政策の「成果指標」であるとの考え方もできる。ただし領域別（品目別）の普及方策を検討するには、出荷金額だけでは課題が見えにくい。ここに「普及度」の考え方が必要となる。

実は市場規模調査対象の製品の中でも、シャンプー・リンスのキザミ等のように普及度がほぼ100%となっている品目もあれば、一向に普及が進んでいない品目も存在する。そうした製品別の特性を踏まえ、これまで配慮が進んでいない品目や利用者を発掘する視点として「普及度」に着目することで、政策展開上のより具体的な目標指標として活用することも可能と考えられる。

北京での不思議体験

【事務局長だより】
星川安之



初めて海外の地を踏んだのが中国・北京、40年も前のことです。途中、給油のための立ち寄りのはずが待合室の窓越しに池で遊ぶ中国の子ども達が見え、扉を開けて一歩踏み出すと、子ども達が遊ぶ同じ空間に立っている自分がいました。

税関もなくパスポートを見せることもなく足を踏み入れた子ども達が遊ぶ地は、子ども達が税関を通ってきたのか、私が税関を通らずに踏み出してしまったのか未だに解明されていません。

その後も国際標準化の仕事で何度も北京を訪れましたが、行く度に少しずつ変化がありました。通勤・通学時、車よりも多くの自転車が道を埋め尽くしていたのが、オートバイに変わり、といった変化です。

地下鉄での乗り降りは、車内の人が降りてからホームで待っている人たちが乗り込むのではなく、乗り降りが同時に行われていました。しかも、車内でドア付近にいる降りない人はそのままドア付近の車内にいるため、乗降を同時に行う人たちにとっては、「邪魔」以外の何ものでもないにもかかわらず、誰も文句を言ったり、怒ったりしていない状況でした。

今年の8月に、数年ぶりに行った北京の地下鉄では、乗り降り同時に乗り込みも、降りないのにドアの付近でたたずんでいる人もおらず、降りる人が降りてから乗るといったルールに変わりつつあるように見受けられました。

そんな状況で、地下鉄に乗り込むと、席に座っている若い人がこちらに向かって手振りで何かを伝えようとしているのに気がつきました。鞆が空いているのかと自分の鞆を見ましたが、チャックはしまっていました。ん？さらに彼の手招きは続き、しまいには席から立ち上がって手招きしているのです。少々気味が悪くなって場所を移動し難を逃れました。帰りにまた地下鉄に乗ったところ、またもや若い男性が手招きをするではありませんか！ん？もしかしたら、髪の毛の白い私を高齢者と間違え、席を譲ってくれようとしているのではないかと思い、それを確かめる為に彼の前に一歩近づいてみると、思った通り、彼は席から立ち上がり、満面の笑みを浮かべ私に席を譲ってくれたのです。はじめての体験が中国・北京。さらに次の日も、一回席を譲られました。前日、高齢者に見られた心理的ダメージはすっかり消え、「譲ってもらって嬉しい！」に代わっていました。

帰国の日、宿泊したホテルに並んでいるタクシーで空港に向かおうとすると、ホテルの人にタクシーよりもこちらの黒塗りの車がいいと勧められ、乗った車は、高速道路の右隣の路肩をまっしぐら。他の3車線は、渋滞にもかかわらず、どの車も邪魔しないのです。これも、髪の毛が白いことによる特権かと一瞬思いましたがそれは無いなど、2つ目の未解明が生じています。

共用品通信

【イベント】

2017 夏休み サイエンススクエア（8月2・3日）

【会議】

第1回 AD 国際標準化検討委員会（本委員会）（7月30日）

【講義・講演】

宇都宮市視覚障害者協議会 講演（7月9日、星川）

平成29年度国立特別支援教育総合研究所第1期特別支援教育専門研修講義（7月13日、星川、森川）

お茶の水ロータリークラブ 講座（7月19日、星川）

日本福祉大学 岡山スクーリング（7月22・23日、星川、森川、金丸）

神奈川リハセンター・神奈川ロービジョンネットワーク合同

勉強会（8月3日、星川）

【報道】

障害者専用の床屋さん 厚生福祉（7月11日）

体重計 日本経済新聞（7月22日）

バリアフリーマップ 厚生福祉（8月8日）

ケアシューズ 日本経済新聞（8月12日）

ヘルプマーク 厚生福祉（8月22日）

大切なのは共用“心” 文藝家協会ニュース 7月号

家電製品の良かったこと調査（JADMA NEWS 7・8月号）

「障害のある人達がいる」があたりまえの商店街（トイジャーナル8月号）

アクセシブルデザインの総合情報誌 第110号

2017（平成29）年9月25日発行

"Incl." vol.17 no.110

The Accessible Design Foundation of Japan
(The Kyoyo-Hin Foundation), 2017

隔月刊、奇数月に発行

編集・発行（公財）共用品推進機構

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-4 OGAビル2F

電話：03-5280-0020

ファクス：03-5280-2373

Eメール：jimukyoku@kyoyohin.org

ホームページ URL：http://kyoyohin.org/

発行人 富山幹太郎

編集長 山川良子

事務局 星川安之、森川美和、金丸淳子、松森ハルミ、田窪友和

執筆 栗野達人、岡田英志、岡田正敏、桑野裕康、後藤芳一、
凌竜也、田中勇次郎

デザイン 関戸菜美

表紙写真 H.C.R.2012 片手で使えるモノ展

編集・印刷・製本 サンパートナーズ㈱

本誌の全部または一部を視覚障害者やこのままの形では利用できない方々のために、非営利の目的で点訳、音訳、拡大複写することを承認いたします。その場合は、共用品推進機構までご連絡ください。

上記以外の目的で、無断で複写複製することは著作権者の権利侵害になります。